

## 地域包括ケアネットワーク No.97

### 吉備医師会エリアにおける地域包括ケアネットワーク

吉備医師会理事 藤井 基弘

吉備医師会のエリアでは、ICTネットワークとしてZoomとケアキャビネットを併用しています。

2023年3月末で「晴れやかネット」が終了し、ケアキャビネット単体利用として（両備システムズがシステム管理担当となり）継続使用しています。

ケアキャビネットでは在宅患者にケアマネージャー、訪問看護、訪問介護、訪問薬局、デイサービス、ショートステイ等の対応事業所と利用可能な範囲で連携登録を行って活用しています。

吉備医師会感染委員会は、Zoomにより備中保健所、総社市行政、吉備歯科医師会、薬剤師会吉備支部、訪問看護ステーションのメンバーも参加して開催されています。

認知症のある患者様で、当院から片道40分ほどかかる総社市の最北西部の山頂近くで独居生活をされている方もおられます。短期記憶障害があり、毎回「はじめまして」から診療が始まります=写真1、写真2。



写真1（総社市の最北西部の山頂近くで独居生活している患者さん）



写真2（車による送迎サービス）

毎日どこかの事業所の方が訪問やら送迎デイサービスをして、その時その時の生活の様子や患者さんの情報について上のような画像をケアキャビネットに持ち寄り、状況を共有しています=写真3、写真4。

また、お薬もカレンダーに入れ、毎日誰かが関わり確認をしながら、管理を行っています。患者宅に情報共有ノートもありますが、訪問した時しか確認できません。ケアキャビネットですぐ確認ができるので大変重宝しています。情報を連携多職種で共有できること、不急の質問事項であれば意見交換を含めて多職種で確認し合うことで支援の裾野が広がっています。



写真3 (家の様子)

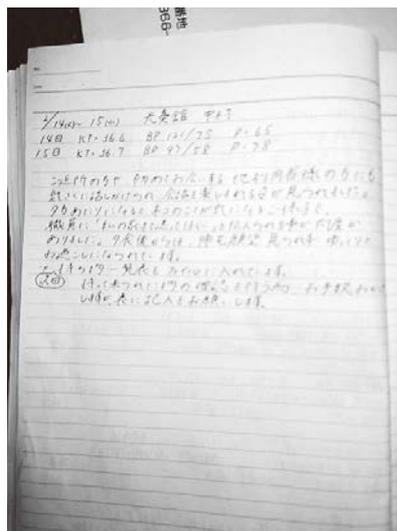


写真4 (患者についての情報)

感染委員会は、Zoom開催なので慣れない方には意外かもしれませんが、当日決定された緊急開催も可能です。遠方であっても関係なく、自家用車内からの参加や、駅の地下街を移動中にもかかわらず、参加いただいたこともあります。セキュリティリスクはあるものの、とにかく話し合いが進むというのは大変ありがたいです。

新型コロナは5月8日から5類相当に変わりましたので、久しぶりに現地開催となりました=写真5。一緒にお食事会を開催できました。これも連携を深める大切な時間となりました。

参加のしやすさは、オンライン開催が圧倒的ですので、今後もZoom開催の予定です。ポストコロナとなりつつある現在、研修会や勉強会も現地開催が増えつつあります。ICTとの併用で地域包括ケアネットワークがより良いものにますます進化してくれることを願っています。



写真5 (久々の現地開催となった感染委員会)